

■市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 修



■パラリンピックを応援してください

いよいよ9月7日から12日間、オリンピックと同じブラジルの「リオ」で障がい者のオリンピック「パラリンピック」が始まります。自転車競技を「パラサイクリング」といいますが、選手は全員、今年6月、山陽オートレース場で合宿練習をした5人です。高次脳機能障がい、視覚障がい、両下脚や片足の切断等にもめげず、パラサイクリングとの出会いにより、歓迎会の席でも、明るく自信を持って競技と人生に挑戦している姿を見て、感動を覚えました。彼らの出番の日が近づきました。みなさんの応援をお願いします。

■うそ電話詐欺にご注意を！

本市では市役所内に消費生活センターを設置し、市民と業者のトラブルについて苦情を聞き助言など行っていますが、平成20年度以降、相談（被害）件数が増加し続けています。電話勧誘や通信販売など、知らない業者から勧誘を受けた事例が多く、被害者のうち高齢者の割合がダントツに高いことも特徴の一つです。甘い言葉に乗せられ、いつの間にか高額の不要な品を買わされたり、先物取引で大損したり、それを取り戻してやるという別の業者からまた騙されるといった被害が続出しています。

業者は相談者（被害者）の氏名・住所・電話番号を知っていますが、被害者には全く心当たりがありません。大変恐ろしいことです。廃業した業者の顧客名簿や廃品回収に紛れた名簿等がこっそり流通しているとか。個人情報を取り

扱いにはくれぐれも注意してください。

相談者（被害者）には、市役所の敷居は高いが、警察の敷居はもっと高いそうです。市の職員が付き添って、被害者を警察に連れていくこともあります。

みなさん、何かあったら先ず市役所の消費生活センター（☎82-1139）にご一報ください。

■「まち再発見」コーナーの リニューアル

観光課から、次のような報告が届きました。

「これまで、まちの魅力を再発見し、ふるさとへの愛着をさらに持っていただけるよう、平成19年8月から市広報「さんようおのだ」の毎月1日号に「まち再発見」のコーナーを設け、市内の様々な名所などの観光情報を提供してきましたが、8月1日号でこのコーナーが100回を迎えたことから、10月1日号からは趣向を変え、これまでのような「市役所からみなさんへ」ではなく、市民の目線が捉えた自慢のわがまちの写真と想いを、エピソードを交えて紹介していただくコーナーとしました。」

初回は観光関係の方をお願いし、次回からはリレー形式でコーナーを繋げていくそうです。この構想を成功させるには、幅広い市民のみなさんのご協力が不可欠です。あなたにもお願いしてもよろしいでしょうか。

なお、これまでの掲載分は冊子にまとめ、山陽小野田観光協会から10月上旬発売の予定だそうです。